

環太平洋4カ国5大学で国際シンポ

「国際化社会のなかの日本語教育」テーマに

第2回下関市立大学国際シンポジウム「国際化社会のなかの日本語教育」が11月12日、環太平洋4カ国5大学の参加で開かれた。海外から招かれた参加者7名は本学友好協定校の日本語教育専門家。各国での日本語教育の現状や課題を報告、議論した。これによって相互の連携が深まり、日本語教育ネットワークを充実させようという機運が強まった(アンケート・フィードバック)。午後1時から5時までの4時間常時、500人教室のB棟233号室が7割以上の聴講者で埋まった。日本語教育関係者や学生、一般市民の言語コミュニケーションに対する関心と国際理解を高めた。

世界の日本語学習者は1998年に210万人を超えた。本学の友好協定校である東義大学校(韓・釜山広域)、グリフィス大学(豪・ゴールドコースト)、クイーンズランド

の教室にマルチメディア・システムを設置し、学習者中心の教育を徹底させる計画があると報告した。青島大学日本語学部長の郭先生からは独学を基本に置いた日本語教育制度についての報告があった。ケネット先生はフォーマルな学習環境からインフォーマルな環境にまで継続する言語習得過程の観察結果を発表した。カーワン先生は漢字や語彙の習得面で振り仮名をつけるのが有効的であると主張した。中野先生は若者の待遇表現(特に敬語)についての意識について述べた。

聴講者は徳島大留学生センター教官やタスマニア出身で岡山市の大学教員など、中四国地区から広く集まった。なかには、校長、教師、生徒が団体で出席した日本語学校もあった。この種のスケールの国際シンポジウムが開かれた



大学(豪・ブリスベン)、青島大学(中・青島)においては、それぞれ充実した日本語教育を背景に多くの日本語学習者を抱えている。下関市立大学でも各友好校からの留学生を含む82名(2002年度)の学生に日本語学習の機会を提供している。身の回りのあらゆるところで、いわゆる「グローバル化」の波が拡大する中で、日本語教育の世界でも、国や地域を越えて問題や課題を共有する時代に入ったといえる。そのような時期に、それぞれ多様な背景を持つ、友好協定校・環太平洋5大学の日本語教育における実情、方法、展望等に触れる機会を得たことは多大な意義がある。

パネルディスカッション参加者は東義大学校から2名(チョ・ヨンホ助教授、ホ・ベガン助教授)、青島大学から2名(郭 鴻雁教授、李 平助教授)、クイーンズランド大学から2名(ベリンダ・ケネット助教授、永田由利子教授)、グリフィス大学から1名(リー・カーワン助教授)、本学からは中野尊代講師、内山浩道教授、山田留里子助教授、白川春子講師。

チョ先生は韓国政府の国際化努力の下、全国小中高全

てのは日本でも稀で、しかも地方の一大学が単独で開催したことが注目を引いた。これを契機に周辺地域の関係者が相互の連携を強化し、グローバルな視野から日本語教育のネットワーク作りを推進できるような環境づくりをしてほしいという要望があった。

本シンポジウムは予算面で市の補助が得られず中止の指示がなされるなかで、社会福祉法人祥寿園理事長頼原俊一氏ほか、大勢の有志の市民からの寄付など外部資金を動員して運営を賄うかたちで敢えて大学として開催した。「地域に根ざし世界を目指す」(“Community based Globally focused”)という理念を貫く本学は、教育・研究における国際性のひとつの実践として、本シンポジウム開催を決行し成功裡に収めた。

会場で回収したアンケートにはそれぞれの発表に関しての感想があり、シンポジウム開催の意義を確認させるものになっている。シンポジウムの成果と教訓を将来の活動に役立てていくために、記録・感想文集録刊行の準備が進んでいる。(文責・第2回下関市立大学国際シンポジウム実行委員長・内山浩道)

大学祭を終えて

大学祭実行委員会 委員長 伊東 和彦

大学祭というのは、年に一度行われる大学のイベントだ。その委員会の委員長をやるにあたって、これは絶対成功させねばならないと思い、責任感を感じドキドキしたが、その中でドラゴンボールの孫悟空のようにワクワク感もあり楽しかった。

大学祭といったら、主役は学生・先生や地域の人々で、我々大学祭実行委員会(以後「学祭」)は、しいて言えば「裏方」である。だから模擬店でモノを売るといった事も出来ず、ただひたすら裏方として大学祭を支える。一見つまらなそうに見えるが、それがなぜか私、そしてメンバーは楽しく思えたように見える。

大学祭の前準備としては、各部署がパンフレット作り、大学祭資金集めの協賛取り、企画の商品取り、コンサートのアーティスト決めなど色々な仕事を少ない人数の中でよく頑張ったと思う。頑張れた理由の中に、コンサートである「モンゴル800/スカイメイツ」を呼べたからだと思う。裏話を言うと、実はモンゴル800への大学祭コンサートのエントリー校は全国で100校もあったのだ。その中から一校選ばれる中で、市大の馬関祭に来てくれるという事になったので、こりゃ成功させなアカンという意志が強くなったのだ。幹部である3年生は15人という少ない人数で不安だった。けど、これだけ少なかったからこそ、みんながまとまって出来て成功に終わったと感じたし、また1、2年で大学祭を成功させようと思ってくれる後輩が多くいてくれたからと思う。そして、市大の馬関祭の為に様々な面で協力していただいた下関地域の企業の方々や、学生部の方々の協力があったからこそ大学祭が出来たのだと思った。大学祭当日は天候が悪く、ありえないほどの風が吹いていた。そのためテントが破壊されたり飛ばされたりしたので、土木業者でないのにテントが飛ばない為の土嚢作りをした。今までの3年間の中で一番大変でしたけど、これもいい思い出じゃないかと思いました。そしてフィナーレの花火が上がった瞬間は、高校サッカーで優勝したように(僕はしていないけど)、ぐぐっと涙が出てきた。大学に入ってまず最初にサークル選びがあるわけだが、私はこの「大学祭実行委員会」というサークルに入ってホントによかったと思う。辛い事もあったけど、その中でいい経験をしたし、沢山のいい友達や先輩・後輩ができたし、ホントに学生生活最後の思い出を学祭で作れてよかった。もし過去にさかのぼれるなら学祭に入ったばかりの頃の自分に言って、学祭をまたやりたいものだ。だから、引退したけど普通に学祭行事に参加させてもらいます。



環境実践組織「利再線サークル」発足!

エコキャンパス推進委員会委員長 坂本 紘二

本学をエコロジカルな雰囲気のあるキャンパスにしたい。構成員一人ひとりのエコ意識や環境実践への意欲が少しでも高まるようであってほしい。しかし、地球環境破壊への不安を抱いていても、日常から環境への負荷を減らすのは容易ではない。であればこそ、自分たちでできることを見出し、実践し、その活動の環を広げていこう、と学生たちが立ち上がった。「利再線サークル」の発足である。

昨年からの活動を始めた「エコキャンパス推進委員会」も大いに励まされている。連携しながらエコキャンパスづくりを推進したい。排出ゴミを減らすため、委員会では来年度から、分別排出を徹底させ、みんなに実践を促そうと計画であり、早速協力を求めたい。このサークルの活動が活発になること、そのためにできるだけみなさんが彼らに協力されることを切に願っている。



私たちは市大の環境に関心のある

有志の集まりです

利再線サークル代表 山本 圭介

現在、参加者は市大生をはじめ本学講師の先生、留学生をあわせ約10人です。活動としては、昨年11月25日、12月8日と23日に綾羅木海岸清掃や今年1月12日に大学周辺および権現山の清掃を行いました。市民団体「下関掃除に学ぶ会」の参加もあり、海岸清掃では平均14人、市大周辺および権現山清掃では15人の参加となりました。

今後、市大の中で環境意識を高める活動やオーガニック(有機化)推進などを考えています。市大を初め、市民の協力も得ながら幅広い草の根環境活動を展開して、みなさんの意見やアイデアもと取りこみながら、開放的で楽しい会にしたいと考えています。興味、関心のある方は、メールや掲示板など、どしどしご連絡ください。

環境対策の連携、中央委員会としても

支援していきたいと思っています

中央委員会代表 稲葉 典文

中央委員会では春学期試験終了後にサークルBOXの清掃を行っています。今回は、昨年の第1回目よりも粗大ゴミの排出量が減少し、ある程度効果が現れているようでした。また、生協では毎年3月に卒業生から不要となった家電製品を集めて、必要な人に提供するなど、リユース・リサイクルの実践活動もささやかながら推進しています。

今回、リサイクルサークルが市大に誕生したことは、各団体が個別に対応していた環境対策を連携して行うための下地が出来つつあることを意味しています。この小さな流れが全学的なものとなることを期待し、中央委員会としても積極的にバックアップしていきたいと思っています。

中国・韓国：日本語を学ぶ学生たち

開発途上国論担当教授 小林 英治

2002年7月から11月まで姉妹校である中国の青島大学に交換教員として赴き、日本語学科の学生たちに講義をする機会をもった。中国の急速な発展に目を見張ると同時に、学生たちの熱心な勉強振りをを見て考えさせられた。

午後4時に一日の授業が終わった後、彼らは図書館あるいは開放された教室で、夜10時まで自習する。朝は授業開始前の6時半ころから教室に出て外国語の暗誦・音読に精を出す。ヒアリング練習のため、キャンパスのベンチで短波ラジオを手にBBCやNHKの海外放送に熱心に耳を傾けている学生たちも見られた。

私が担当した授業は日本語学科3年生の「高級会話」と4年生の「日文選読」だった。彼らは日本の新聞記事などを難なく読みこなし、4年生と読んだ漱石の「坊ちゃん」を理解することにもさして困難を感じなかった。私の講義内容もほぼ完全に理解する力を備えていた。

12月にはゼミの学生18名を連れて、韓国釜山の東義大学校を訪ね、ここでも日本語学科の学生たちに会った。きれいな日本語を話す彼らは、わがゼミ学生たちの案内役をかってで、若者同士大いに盛り上がっていた。日本語は韓国語と言語構造が似ていることもあって、韓国の学生たちの日本語はより自然に耳に響いた。

両国とも日本語を学ぶと日系企業などに就職できるので、日本語学科は人気があると聞いた。ただ卒業には困難な一級試験に合格しなければならず、勉強にいっそう身が入る。特にWTO加盟を果たした中国では、世界との熾烈な競争に勝つため、国を挙げて語学の習得に取り組んでいる。

文学部で外国語を専門に学ぶ学生および教師たちには悩みがあることを知った。これは日本の英語英文学科でも同様だろうが、日本語あるいは日本文学を専門に勉強するか、あるいはより実用的な日本語を身につけるかの問題である。学生たちの興味を引くのは明らかに後者であり、社会の要求でもある。そのため、日本語学科の学生たちは社会に出て役立つ経済や経営、法律なども学ばねばならない。もうひとつは日本語に加えて共通語としての英語の学習であり、彼らは英語にも真剣に取り組んでいる。青島大学国際貿易学部で試みた英語の講義には活発な質問が出て、学生たちは良く理解していると感じた。

隣国の学生たちの語学への真剣な取り組みに、日本の学生たちも安閑としてははいられない。このままでは日本が取り残されることになるからだ。市大の学生諸君、ぜひ一、二の外国語を真剣に学んでほしい。いや学ぶだけでは十分ではない、実際に使えるように身に付けることである。経済の専門のうえに外国語、そうすればまさに鬼に金棒、中国語では「如虎添翼」〔虎に翼が生えるように〕という。



新任教員紹介

みち一筋に学びなば...

中国語担当講師 武井 満幹



秋学期から講師をつとめている武井満幹と申します。信州は上田の生まれです。本学に赴任する前は広島大学の文学部に在職しておりました。中国の六朝と呼ばれる時代の文学を研究しています。よろしくお願いいたします。

「みち一筋に学びなば」とは、長野

県の県歌「信濃の国」の一節で、このあと「昔の人にや劣るべき」と続きます。私が研究を続ける上で支えとなっている一節です。「みち」と言い大仰に思われるかもしれませんが、私は自分の思うところを努力して続けていくことの大切さを言っていると理解しています。学生の皆さんにも、自分が興味を持って真剣に打ち込める何かを見つけてほしいと思います。

授業は専ら中国語を担当しますが、古典文学に興味のある方がいらっしゃれば、いつでも研究室のドアをノックしてください。

青島大学研究員紹介

実り多きこの半年

朴 明 根



青島大学と下関市立大学との友好協定に基づき、私は昨年10月からこの3月まで貴校にて研究活動を行う機会を得ました。僅かな期間とはいえ、多くの実りある成果を収めることができました。日本の皆様が創造された物質文明や資源が乏しい状況の中でも、大

きな成果を収めた経済建設や農工業の発展、充足したインフラ整備建設などを拝見するたびに大きな驚きを覚えます。また、日常の生活の中で培われた優れた礼儀作法、例えばお互いに道を譲り合ったり、欠かさぬ日々のあいさつ、お

互いの尊敬の念、ごく普通の生活の中で日本人の善良さと文化程度を表しています。今回私は日本と中国の間には経済面はもとより、各方面でのお互いの協力関係の発展と必要性を深く感じました。経済面では補完性、政治面では協力性、文化面では相互依存性をそれぞれ有しています。日本と中国とはよく似た課題を多く有しており、お互いに協力し合う前提と必要があります。例えば、両国の銀行が抱える厳しい不良債権問題や両国の国営企業における収益の低下、また両国経済のデフレ問題などです。これらの共通点については両国の政界、経済界はお互いに協力し合わなければなりません。良い機会と条件があれば、必ず良い結果を生み出します。私は下関市立大学の益々のご発展と日本での名門校の一つとしてより高名な学者を輩出してゆくことを願ってやみません。

美しく、活力溢れる下関、さようなら。また会う日まで。

平成 14 年度 就職 状況

平成 9 年に就職協定が廃止され、早い企業では 1 月から会社説明会をはじめるところがでてきた。

この影響を受け、秋学期試験終了直後(2月中旬)から学生は就職戦線に突入し、本学の就職委員もその対応に奔走した。今年度の本学の内定状況は現時点(15.1.15)で昨年に比較すると3.9ポイントの減少となった。

平成15年も厳しい雇用状況が続くと思われる。新4年生の健闘を切に祈りたい。

本学の平成15年1月15日現在の内定率は、男子62.7%、女子67.4%、全体で64.4%である。主な就職先は下記のとおり。

平成14年度就職内定一覧表 (平成15.1.15現在)

■建設(10) 大和ハウス工業 積水ハウス レオパレス 21 日本国土開発 原弘産 明興住機 和歌山ミサワホーム 飛島建設 ■食料品(10) 日本食研 農水フーズ ニチロ コココーラ・ウエストジャパン フジパン ユタカフーズ 日本ケンタッキー・フライドチキン ほんぼ ■衣服・繊維(2) 内外製綱(下関) 丸八真綿 ■出版・印刷(7) アロー印刷 みなと山口合同新聞社 情報サービス 東京スポーツ新聞社 徳島新聞社 福博総合印刷 ■化学(5) 日本ケミファ 再春館製薬所 常盤薬品工業 北陸製薬 ■石油・石炭(1) 出光興産 ■非鉄金属(1) 西山ステンレスケミカル ■一般機械(3) 長府製作所 岡本工機 ■電気機械(2) エム・シー・エス 日立製作所 ■輸送用機械(1) 日本輸送機 ■その他製造(4) メディア・プライス アオイ化学工業 阿波製紙 はせがわ ■運輸(19) 日本通運 福山通運 岡山県貨物運送 ANA スカイバル 関光汽船 三井倉庫九州 キューソー流通システム 博運社 鴻池運輸 第一交通産業 日本交通産業 誠実旅行 JAL 九州サービス宮崎 福岡エアサービス 国際エアラインサービス ■通信(2) アイ・イーグループ	■商社(25) 兼松エレクトロニクス シモセン 山善 ヤマエ久野 オカベ やよい 三陽商会 藤三商会 日伝 サンワサプライ ナイス TOKAI 松岡 明光電子 大西商事 鈴与商事 アナリゼ化粧品 コーセー化粧品販売 ■小売(77) ダイエー イズミ ひまわり 嘉穂無線 ナフコ ジョイフル アプライド ネットヨタ山口 インテリアセンター クラモト ケイコーポレーション コメリ デグザグ J ブランニング ゼンショー ダイエーオーエムシー トライアルカンパニー ニッセン ハローズ フジ ふじや ミスターマックス 井筒区 万代 丸善 指貫タンス店 小倉スポーツ 松屋フーズ 明屋書店 イー・アンド・エム オッペン化粧品 カルチュア・コンビニエンス・クラブ ファーストリテイリング ネットヨタ広島 マリンフーズ ヤマハオートセンター 映クラ トクラ ベスト電器 ロッセリア ミヤコ 良品計画 熊本ゼロックス 山口トヨタ自動車 山口ダイハツ販売 松江ターミナルデパート コブこうべ	日本トイザらス 北九州ダイハツ販売 ジャストミートコーポレーション 天満屋ストア ジュエルセブン ダイキ 物語コーポレーション キング マルマン ■銀行(18) 国民生活金融公庫 中小企業金融公庫 山口銀行 伊予銀行 広島銀行 西京銀行 中国銀行 広島総合銀行 百十四銀行 農林漁業金融公庫 宮崎銀行 四国銀行 島根銀行 京都銀行 山陰合同銀行 和歌山銀行 ■証券(4) 野村証券下関 野村証券 野村証券高知 丸三証券北九州 ■保険(12) 第一生命保険 損害保険ジャパン下関 安田生命保険 福岡 安田生命保険 広島 三井住友海上火災保険 福岡 全国共済農業共同組合 福岡 全労済 第一生命福岡 ■商品取引(12) 三貴商事 オリエント貿易 エース交易 グローバリー 光陽トラスト 光陽ファイナンス・トレード 日本ユニコム 北辰商品 日本アクロス ■その他金融(14) 下関信用金庫 武富士 京都信用金庫 山口県信用農業協同組合連合会 備前信用金庫 福岡ひびき信用金庫 オリエントコーポレーション アプレック ■不動産(11) 下関商業開発 東日本住宅 合人社計画研究所 ロイヤルホームセンター ヤング開発 穴吹コミュニティ ジェネラスコーポレーション 別大興産	■医療(5) いでした内科神経内科クリニック 健和会 下関厚生病院 西日本医療サービス ■教育(5) 進学会 育英館 明光義塾新下関教室 フロンティア ■法務(1) 大田明登法律事務所 ■非営利団体(5) 岡山つばくろ保育園 労働福祉事業団 社会福祉法人ユートピア学園 下関市公営施設管理公社 ■その他サービス(33) 宇部情報システム ラック クレスコ キャッツ ランドコンピュータ ジャステック 山口情報処理サービスセンター 日立ビルシステム九州 総合オリコミ社 高島デリバリー 地域科学研究所 富士通ビジネスシステム アイ・ケイ・ケイ NTT システム開発 グランド・ハイアット福岡 大谷山荘 セコム 朝日広告社 情報技術開発 日本ビジネスバンク 富士ゼロックス流通 石光情報サービス 都城農業協同組合 コベルコシステム 松本税理士事務所 総合警備保障 宮銀スタッフサービス 農林農業協同組合 ■国家公務(6) 中国財務局 東京税関 自衛隊幹部候補 中国郵政局(Ⅲ) 近畿郵政局(Ⅲ) 東京国税局 ■地方公務(28) 下関市役所 山口県警察 福岡県警察 刈谷市役所 広島県庁 岐阜県庁 美祿市役所 鳥取県警察 福岡市消防局 久留米市消防本部 愛媛県警察 他 ■自営・その他(8) 合計 331 名
--	--	--	---

推薦入学・特別選抜・編入学の 試験を実施

11月23日、本学において2003年度推薦入学・社会人特別選抜・編入学の試験が実施された。全国推薦では、各学科31名の募集に対して経済学科67名(前年度30名の募集に96名)、国際商学科73名(同65名)、地域推薦では、各学科34名の募集に対して経済学科46名(前年度35名の募集に50名)、国際商学科40名(同43名)の志願者があった。社会人特別選抜では、各学科3名の募集に対して経済学科3名(前年度なし)、国際商学科3名(前年度なし)の志願者があった。帰国子女特別選抜には志願者がなかった。編入学では、各学科10名の募集に対して経済学科20名(前年度8名)、国際商学科24名(同17名)の志願者があった。

合格者の内容は次の通り。全国推薦では経済学科31名、国際商学科37名。地域推薦では経済学科35名、国際商学科35名。社会人特別選抜では経済学科3名、国際商学科3名。編入学では経済学科7名、国際商学科9名。

志願状況を前年度と比べると、全国推薦では経済学科で29名減少し、国際商学科で8名増加している。それぞれの倍率は2.2倍(前年度3.2倍)、2.0倍(前年度2.1倍)となった。全国推薦の志願者総数は昨年大幅に増加したが、今年度は一昨年とほぼ同数となった。一方、地域推薦では経済学科4名、国際商学科3名の志願者減となり、倍率はそれぞれ1.3倍(前年度1.4倍)、1.1倍(同1.2倍)となった。社会人特別選抜に今年度一挙に6名の志願者があったこと、また、編入学の志願者が大幅に増加したことなどが印象的であった。

大学院・経済学研究科学生募集(第二次)

本学大学院には、現在、経済社会システム専攻に2年生6名、1年生6名、国際ビジネスコミュニケーション専攻に2年生4名、1年生5名が在籍している。

昨年10月実施の平成15年度入試(第一次)では、経済社会システム・国際ビジネスコミュニケーション合わせて7名の合格者をみている。

以下の要領で平成15年度の学生募集(第二次)を行う。

1. 募集人員

経済社会システム専攻	若 干 名
国際ビジネスコミュニケーション専攻	若 干 名

2. 試験期日・出願期間

試験期日：平成15年3月16日(日)

出願期間：平成15年2月19日(水)～2月26日(水)

(※出願資格に関する詳細は本学教務部へ)

3. 選抜方法

入学者の選抜は出願書類、筆記試験及び口述試験により総合判定する。

	一般選抜	社会人選抜	外国人留学生選抜
小外国語論文又は 外国語 (英語、中国語、 朝鮮語より1科 目選択)		小論文 (社会科学全般に関する常識問題)	
論述試験	理論経済・社会政策・労働経済・地域産業・世界経済史・経済地理・都市環境・地方自治法・経営管理・人事労務管理・日朝関係史・開発経済・国際コミュニケーション・金融経済・経営情報システム・西洋思想・現代中国語の17分野について出題するので、そのうち1問を選択。		
口述試験	志願者の研究意欲、研究能力、研究計画、就学条件等を判定する。		

※「社会人選抜」・「外国人留学生選抜」の該当者は「一般選抜」でも受験できる。ただし、事前に届け出た選抜方法は変更できない。

※永住外国人を除く外国人、あるいは外国人留学生が「一般選抜」で受験する場合は、母国語の選択はできない。
※外国語の選択は出願時に行い、以後の変更は認められない。

※外国語は辞書持ち込み可。

4. 合格発表

平成15年3月22日(土)午前10時、本学にて

大学院経済学研究科研究生制度

本学の施設を利用し特定の研究をする制度。

履修期間：1年以内。短期間の履修、延長も可。

入学時期：不定期

研究生資格：①修士の学位を有する者 ②外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 ③大学を卒業し、又は同等の学力があると認められる者で、卒業後一定の年限を経過し、かつ一定年限の職歴を有していること ④③を満たし、企業・官公庁・友好交流協定校等から派遣される者にあつては、所属長の推薦を受けていること。(この者にあつては、③の卒業後及び職歴の年限に関する規定は適用しない)

志願方法：学年、学期開始1ヶ月前までに出願書類を提出。
出願書類：①研究生入学願 ②履歴書 ③研究計画書 ④最終出身校の卒業(修了)証明書又は学位記証明書 ⑤その他本学が必要と認めるもの ⑥入学検定料・入学金・授業料

学生のみなさん、 「報奨金制度」知っていますか！

この制度は、本学後援会の支援で学生生活を活性化することをねらいとして設けられていますが、残念なことに、報奨金申請手続きをしていない学生はいませんか？

今回本学学生に周知するため、そのポイント(学生便覧213頁参照のこと)を紹介しておきます。

- ①国際大会、全国・西日本・山口県大会のほか、北九州、下関地区大会等が対象です。
- ②在学中の実績であれば対象になります。
- ③複数回報奨金を獲得することも可能です。
- ④サークルに所属していない学生が個人・団体のスポーツその他で活躍したケースは、申請漏れが発生しやすいので注意してください。またサークル内でもそうした漏れが出ないように先輩から後輩に引き継ぎをしていって欲しいものです。
- ⑤その他不明な点があれば事務局後援会で確認してください。

昨年度の例では、資格19件、スポーツ22件、それぞれ38万円、20万5000円を後援会から支援していただいています。学生の諸々の活動にはコストが伴いますから、少しでもその制約を取り除き有意義な学生生活を送れるように、この制度を活用していきましょう。(学生部)

私の教育・研究

心理学担当教授 横山 博司



学部の卒業論文の時から一貫して研究しているテーマは、ストレスと不安に関する研究です。ストレスや不安を実験的な方法で研究していく実験異常心理学と社会心理学的な観点から臨床的問題を捉えていく臨床社会心理学の立場から研究を展開しています。現在の中心テーマは、対人不安とワークストレスです。対人不安の研究は、一区切りつけ、まとめにかかっているところですが、不安に影響を与える他者の存在と対人不安との関係を公的自己意識という概念を用いて説明しようとしているところです。ワークストレスの研究では、仕事の負荷、裁量度、要求度、役割期待などの変数を操作して、ストレスとの関係を研究しています。昨年度の日本行動医学学会荒記記念賞の対象になった研究は、仕事における個人的責任性と仕事の裁量度を操作して、それがストレスにどのような影響を与えるかを調べた研究です。現在は、職場における役割期待や組織風土とストレスとの関係について研究しているところです。

教育面において、市大では、2つの役割を持っています。第1の講義科目（心理学、教育心理学等）、専門演習においては、心理学の基本的な知識の習得だけでなく、自分の頭で事物を考えることのできる学生を育てることを目標にしています。専門演習では、学ぶことで、学生諸君が成長していくのを楽しみに指導しています。第2は、相談室のカウンセラーとしての役割です。悩んでいた学生が笑顔で相談室を去っていくのを励みに仕事をしています。

「地域と大学」(市民大学連続講座)終わる

2002年度の市民大学連続講座では「地域と大学」をテーマに、8回の講座とまとめのシンポジウムを開催した。

連続講座では、下関市内の4年制大学の学長や副学長、山口経済研究所常任理事、北九州市立大学前学長や北九州市産業学術振興局長にご講演いただいた。また、11月3日のシンポジウム「地域と大学行政」では、連続講座での講演者が一同に会し、それぞれの立場から、大学のおかれている現状、地域や社会への貢献のあり方についてフロアも交えての議論がなされた。いずれの大学も地域に開かれた大学をめざして努力している具体的な事例が報告された。

本シンポジウムは、ケーブルテレビでも放映された。また概要は冊子にまとめられ、シンポジウムのビデオと共に本学図書館に所蔵されている。市民の方に関心をもったいただき、今後の議論のきっかけになればと願う。最後に、ご協力いただいた関係機関の方々にお礼を申し上げます。

(産業文化研究所運営委員 田中裕美子)



同窓会のコーナー

建学の精神

下関市立大学同窓会会長 飯田 要 (1期卒)



下関市立大学広報に卒業生から原稿を募集すると聞き、大変いいことだと思いました。この広報は、多くの学生が読みますので、卒業生の言葉が後輩たちの励みになるように、期待しています。

各地の同窓生の集まりに参加することがありますが、その時にお話するように心がけていることがあります。それは、母校の誕生についてです。

昭和37年に下関市立大学ができましたが、それ以前に、下関市立商業短期大学の時代がありました。昭和31年に創設されたこの短期大学は昼間働きながら夜間勉強するという勤労青年のためのものでした。短大生は、1期から7期までいました。

この短期大学は、昭和26年に開設された山口経済研究所主催の夜間講座が母体となったものでした。毎年1年間の講座終了時に終了証を貰うだけでは物足りないという受講生達が大学設置運動を起こしたのでした。昭和28年(1953)3月13日の記事に次のような内容が載っています。

「同講座の受講生110名は修了生50名と連名で、下関市長、同教育長、市議会議長、同文教委員長あて、経済短期大学の早期設置を求める嘆願書を提出した。すでに設立条件の図書5,000冊の購入費にあてるため、1人月60円ずつ積立を始めているという。」

特に下関市立商業短期大学の第1期の先輩達の中には、昭和31年4月開校まで、母校創設に尽力された方々が数多くおられました。今でもその先輩達とお話する時は、当時のことが昨日のことに、いきいきとした顔で語られます。話を聞いている私の方が元気をもらって、いつの間にか自然と胸を張って聞き入っていました。

この若者達が起こした運動は、わが母校の原点であり、伏流水となって脈々と私たちに受け継がれています。「働きながら学ぶ」精神こそが建学の精神です。就職するまで辛抱して、就職すれば羽根を伸ばそうかと考えている学生には耳が痛いかもしれません。しかし全国どこへ行っても母校下関市立大学の生い立ちを知っていれば堂々と胸を張って、自慢できます。私の母校は、勤労青年達が作った大学なのです、と。

今、そして今後、少子化は否応なしに進んでいきます。その影響をもろに受けるのが教育関係・学校関係です。母校もその渦中に巻き込まれようとしています。それは、大学間の競争や、国立大学の行政法人化、多くの大学の定員割れという形で現れています。この荒波を乗り越えて母校が発展するためには、卒業生の母校愛が欠かせません。市大生よ、自信を持て！！

お知らせ

「エコキャンパス推進委員会」と「体育会」のページをインターネット上の本学ホームページに新規掲載する予定です。両組織に関する情報は、今後そちらで詳細にご覧いただけることになります。

サークル紹介

大学祭実行委員会です。

委員長 内園 航

僕たち大学祭実行委員会は毎年11月の初めに行われている大学祭を成功させるために、大学祭の準備や運営を活動としています。大学祭では各サークルが模擬店を出したり、ステージ企画をしたり、ゼミの展示や有名人を呼んでの講演会などを行っています。そしてなんといっても毎年盛り上がるのが、アーティストを呼んでのコンサートです。僕たちはこの大学祭のいわば裏方のスタッフ的な活動をします。主な活動時期は、大学祭の始まる1ヶ月前の10月ごろです。その他にも夏に祭りのボランティアに参加したりします。飲み会なども定期的に行っているんで、きつい仕事ばかりではありません。人数もわりと多いサークルですが、一緒に多くの活動を協力して行うことで、多くの人と仲良くなれます。そして、大学祭が成功すればきっと大きな感動を得られること間違いなしです!! 大学生活で何かいい思い出を作りたい人は是非大学祭実行委員になりましょう!! よろしく□□



第26回西日本学生中国語弁論大会 (燎原会主催)で優勝して

経済学科4年 岡 雅之

今回の参加にあたり自分は非常に悩むことがありました。それは自分の文章に自信がもてなかった事です。指導して下さった先生は、よい文章だと評価して下さいましたが、「自分が本当に言いたいこの文章が間違っていることを消々と書いていないだろうか」「自分は間違っていないだろうか」という事を悩み続けていました。しかし、自分がなぜ弁論に参加するのか、何の為に練習しているのかを考えたときある意味での悩みは吹っ切れました。自分の文章を誰かに聞いていただくと言うことは、とても慎重を要することです。だからまず肝要なことは最大の練習を以て、聞いて頂く方々に失礼のないようにすることだと考え至りました。それはやがて「自分を表すことはどういうことか」ということに繋がっていきました。そして努力するより最良の道がない、ということも。今回の受賞に際して私は感謝したい人達がたくさんいます。それは心で私を支え続けてきてくれた人達、私と関わってきて下さった人達です。ありがとうございました。

中華人民共和国駐大阪総領事館賞 を受賞して

国際商学科一年 上坂みゆき

今回私は、西日本学生弁論大会という自分の経験を中国語で発表する良いチャンスを頂きました。毎日の練習では、先生や中国人の友人から多くの協力をえながら、正確な発音をすることまたどうすれば聞き手に自分の気持ちが伝わるのかを考えながら、何度も繰り返して行いました。大会では周りのみんなの応援と毎日の練習が自分の自信につながり、自分の気持ちをぶつけることができ、発表し終えた後には充実感と感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからも更なる努力をしていこうと思います。ありがとうございました。



山田先生 岡 君 上坂さん

学生団体新役員紹介

中央委員会



大村君

委員長	大村 浩崇	国際商学科	2年
副委員長	丸塚 大輔	国際商学科	2年
副委員長	中瀬心之介	経済学科	2年
書記長	小野亜由美	経済学科	2年

体育会



田中君

会長	田中 丈晴	経済学科	3年
副会長	藤井 太樹	経済学科	3年
書記長	綿谷 修孝	国際商学科	3年

文化会



岩迫君

会長	岩迫 陽志	経済学科	3年
副会長	高橋美希子	国際商学科	3年
副会長	宿利 圭介	経済学科	3年
書記長	竹中 絵美	国際商学科	3年

大学祭



内園君

委員長	内園 航	国際商学科	2年
副委員長	中村 匠吾	経済学科	2年
副委員長	高木 博史	経済学科	2年
総務	山本 真子	国際商学科	2年

下関市立大学後援会援助規程による表彰

(平成14年3月・平成14年10月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

- *平成13年度山口県体育大会(少林寺拳法)
 - 組演武一般初段の部 第1位 岩佐健太郎・周藤伸次郎
 - 組演武一般段外の部 第1位 石井 真・近江 和明
- *第21回少林寺拳法西中国学生大会
 - 組演武男子段外の部 第2位 妹尾 克也・福井 健二
- *第30回山口県少林寺拳法大会
 - 組演武一般初段の部 第2位 妹尾 克也・福井 健二
 - 組演武一般段外の部 第2位 坂本 貴義・妻鳥 克也
- *第37回少林寺拳法中四国学生大会
 - 男子段外の部 第1位 高野 聖・中田 祐二
- *第49回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
 - 陸上女子3000m 第1位 佐貫 美子
 - 陸上男子円盤投げ・砲丸投げ 第1位 曾我 法精
 - 剣道競技女子個人 第2位 上野 弥生
 - バスケットボール男子第2位 バスケットボール部
- *平成14年度山口県学生バスケットボール選手権
 - 春季大会 男子I部 第2位 バスケットボール部
- *平成14年度春季北九州学生テニス選手権
 - 男子ダブルス 第1位 穴田 晃平(もう1名は他大学生)
 - 男子シングルス第2位 //
- *平成14年度西日本地区学生軟式野球連盟春季大会
 - II部リーグ戦 第1位 軟式野球部
- *第25回暗誦弁論大会(燎原会主催)
 - 弁論の部 第2位 経済学科 福田 聡

【各種資格取得報奨】

- | | | |
|-------------|---------|-----------------|
| 経済学科 | 4年門田 直喬 | 宅地建物取引主任者 |
| | 4年白水 清裕 | 基本情報処理技術者 |
| | 4年福田 聡 | 中国語検定準2級 |
| | 4年藤村 薫 | 行政書士 |
| | 3年藤田 裕和 | 初級システムアドミニストレータ |
| 国際商学科H14.3卒 | 石原 達也 | TOEIC750点以上 |
| | // | TOEFL213点以上 |
| H14.3卒市川 | 浩平 | 秘書技能検定2級 |
| H14.3卒尾崎 | 公子 | 基本情報処理技術者 |
| | 4年上田 都 | 初級システムアドミニストレータ |
| | 4年大村 康二 | 初級システムアドミニストレータ |
| | 4年柴田 尚美 | 国内旅行業務取扱主任者 |
| | 4年山科 裕二 | 初級システムアドミニストレータ |
| | 4年川延 浩彰 | TOEIC750点以上 |
| | 4年園田 和子 | 初級システムアドミニストレータ |
| | 3年今橋 瑞恵 | 秘書技能検定2級 |

行事記録(2002年9月~12月)

- | | | |
|----------|----------------|---------|
| 9月2日(月) | 春学期補講 | 9/4まで |
| 5日(木) | 春学期定期試験 | 9/18まで |
| 9日(月) | 大学院願書受付開始 | 9/17まで |
| 19日(水) | 第2回就職ガイダンス | |
| 20日(金) | 市民大学(中国語会話中級) | 12/13まで |
| 25日(水) | 市民大学(朝鮮語会話初級) | 12/11まで |
| 26日(木) | 市民大学(英会話中級) | 12/12まで |
| | 市民大学(パソコン入門) | 11/14まで |
| 10月5日(土) | 大学院入試 | |
| 7日(月) | 秋学期授業開始 | |
| 15日(水) | 大学院入試合格発表 | |
| 16日(木) | 連続テーマ講座「地域と大学」 | |

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 講演者 | 下関市立大学学長 下山 房雄 |
| 17日(木) | 春学期卒業式 |
| 18日(金) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 梅光学院大学学長 森田 兼吉 |
| 21日(月) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 水産大学校校長 三本管 義昭 |
| 23日(水) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 東亜大学副学長 義平 邦利 |
| 25日(金) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 北九州市立大学前学長 田中 慎一郎 |
| 28日(月) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 下関市長 江島 潔 |
| 30日(水) | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 山口県経済研究所常務理事 有吉 宏樹 |
| 11月1日(金) | 大学祭 11/4まで |
| | 連続テーマ講座「地域と大学」 |
| 講演者 | 北九州市産業学術振興局長 古賀 哲矢 |
| 3日(日) | シンポジウム「地域と大学行政」 |
| | パネリスト 連続テーマ講座各講演者 |
| 7日(木) | 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学願書受付開始 11/15まで |
| 14日(水) | 第3回就職ガイダンス |
| 23日(土) | 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試 |
| 12月2日(月) | 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学合格発表 |
| | 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生) |
| | 願書受付開始 12/13まで |
| 4日(水) | 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学手続開始 12/11まで |
| 25日(木) | 冬季休業開始 1/7まで |
| 27日(金) | 公務納め |

平成15年度行事予定

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 4月1日(火) | 春季休業 | 10月1日(木) | 秋学期授業開始 |
| 7日(金) | 入学式 | 31日(金) | 大学祭 |
| 9日(日) | オリエンテーション | 11月3日(月) | 大学祭 |
| 11日(火) | 春学期授業開始 | 12月24日(水) | 冬季休業 |
| 14日(金) | 開学記念日 | 1月6日(火) | 秋学期補講 |
| 6月1日(日) | 春学期補講 | 1月28日(木) | 秋学期定期試験 |
| 7月16日(水) | 夏季休業 | 2月3日(火) | 卒業式 |
| 18日(金) | | 13日(金) | |
| 19日(土) | | 3月25日(木) | |
| 8月31日(日) | | | |
| 9月1日(月) | | | |
| 11日(水) | | | |

編集後記

本号で取りあげた「国際シンポジウム」や「環境対策の推進」は、学際的活動であると同時に、市大の前向きでオリジナルな心意気をも伝えてくれた。また、新設の「同窓会のコーナー」では、会長の飯田要氏から市大の後輩たちに熱きメッセージが語られた。勤労青年が燃やし続けた「こころざし」や「学びの精神」を本学のアイデンティティーとして受け継いでいってほしい。(衛藤)